慣用句(上級)プリント19

月　　日　　名前 _____

問1　「胸が潰れる」の意味はどれですか？

1. 激しい怒りで、理性を失いそうになること
2. 悲しみや心配で、たまらなく苦しくなること
3. 大きな失敗をして、自信を完全に失うこと
4. 強い衝撃を受けて、呼吸ができなくなること

問2　怒っている先生に意見するのは、まさに（　）を踏むようなものだ。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 獅子の耳
2. 龍の髭
3. 蛇の目
4. 虎の尾

問3　「花を持たせる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 今回の勝負では、最後まで頑張った彼に花を持たせた。
2. 花を持たせて、相手に重い荷物を運ばせた。
3. 花を持たせて、部屋を華やかな雰囲気に変えた。
4. 花を持たせて、相手に自分の失敗を認めさせた。

問4　「痛しかゆし」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 彼は痛しかゆしの表情で、激しい腹痛を訴えていた。
2. 怪我の痛しかゆしが治まらず、病院へ行くことにした。
3. 昇進は嬉しいが責任も重くなるという、まさに痛しかゆしの心境だ。
4. 虫に刺されて痛しかゆしで、夜も眠れず困っている。

問5　「胸襟を開く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 胸襟を開いて座ると、背筋が伸びて姿勢が良くなる。
2. 寒かったので、コートの胸襟を開いて風を通した。
3. 彼は胸襟を開いて、新しい服を買いに出かけた。
4. 長年の確執があったが、ようやく胸襟を開いて対話できた。

問6　彼は研究のために（　）を惜しまず努力を続けた。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 肋骨
2. 骨身
3. 背骨
4. 頭蓋骨

問7　「芽を摘む」の意味はどれですか？

1. 将来、物事が発展する可能性を早い段階でなくしてしまう
2. 新しい計画を立てて準備を始める
3. 植物の成長を促すために余分な枝を切る
4. 成功のチャンスを逃さないように努力する

問8　魚市場の競りは、朝から（　）勢がいい。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 体
2. 気
3. 威
4. 心

問9　「頭打ちになる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 天井が低すぎて、背の高い彼は頭打ちになった。
2. 高いジャンプをして、頭打ちにならないように注意する。
3. 工事現場でヘルメットを被らず、頭打ちになって怪我をした。
4. 新製品の販売数が伸び悩み、頭打ちになった。

問10　「輪をかける」の意味はどれですか？

1. 物事の順序を入れ替えて混乱させる
2. ある物事の程度がさらに甚だしくなるようにする
3. ある物事の欠点を見つけて厳しく指摘する
4. 複数の物事をまとめて一つに縛り付ける

問11　慣用句としての「手を広げる」を使った文はどれですか？

1. ダンスの振り付けで、手を広げる動作をした。
2. 彼は驚いて、両手を広げて立ち尽くした。
3. 準備運動で、大きく手を広げて深呼吸をした。
4. この会社は最近、新しい市場へ手を広げている。

問12　「血道を上げる」の意味はどれですか？

1. ある物事に夢中になり、他のことが手につかなくなること
2. 無理をして体力を使い果たすこと
3. 健康のために血行を良くすること
4. 激しい怒りで顔を真っ赤にすること

問13　「面目を施す」の意味はどれですか？

1. 世間に対して恥をかき、立場を悪くする
2. 名誉を保つ、または面目を立てる
3. 自分の能力を最大限に発揮して注目される
4. 周囲の期待に反して、失敗を繰り返す

問14　ベテランの貫禄を見せつけ、まさに（　）の活躍だった。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 面目次第
2. 面目一新
3. 面目躍如
4. 面目丸潰れ

問15　「鼻息が荒い」の意味はどれですか？

1. 非常に怒っており、激しく興奮している様子
2. 体調が悪く、呼吸が苦しそうな様子
3. 意気込みが激しく、自信に満ちている様子
4. 他人の成功を妬み、ひがんでいる様子

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(上級)プリント19　答え合わせ・解説

問1　答え 2　悲しみや心配で、たまらなく苦しくなること
「胸が潰れる」は「悲しみや心配で、たまらなく苦しくなること」という意味です。

問2　答え 4　虎の尾
「虎の尾を踏む」の「虎の尾」の部分が入ります。 意味は「とても危ないことをする。大きな危険をおかすたとえ」です。

問3　答え 1　今回の勝負では、最後まで頑張った彼に花を持たせた。
「花を持たせる」は、「相手を立てて、勝ちや名誉をゆずる」という意味の慣用句です。そのため「今回の勝負では、最後まで頑張った彼に花を持たせた。」が正しい使い方です。

問4　答え 3　昇進は嬉しいが責任も重くなるという、まさに痛しかゆしの心境だ。
「痛しかゆし」の正しい使い方は「昇進は嬉しいが責任も重くなるという、まさに痛しかゆしの心境だ。」です。 意味は「どちらとも決めかねて困る状態である」です。

問5　答え 4　長年の確執があったが、ようやく胸襟を開いて対話できた。
「胸襟を開く」の正しい使い方は「長年の確執があったが、ようやく胸襟を開いて対話できた。」です。 意味は「心を開いて、隠し立てせずに打ち明ける」です。

問6　答え 2　骨身
「骨身を惜しまない」の「骨身」の部分が入ります。 意味は「自分の労苦をいとわず、ひたすら懸命に働くこと」です。

問7　答え 1　将来、物事が発展する可能性を早い段階でなくしてしまう
「芽を摘む」は、将来、物事が発展したり成長したりする可能性を早い段階でなくしてしまうという意味です。

問8　答え 3　威
「威勢がいい」の「威」の部分が入ります。 意味は「元気で活気があり、勢いが盛んである」です。

問9　答え 4　新製品の販売数が伸び悩み、頭打ちになった。
「頭打ちになる」の正しい使い方は「新製品の販売数が伸び悩み、頭打ちになった。」です。 意味は「物事の成長や上昇が限界に達し、それ以上伸びなくなる」です。

問10　答え 2　ある物事の程度がさらに甚だしくなるようにする
「輪をかける」は「ある物事の程度がさらに甚だしくなるようにする」という意味です。

問11　答え 4　この会社は最近、新しい市場へ手を広げている。
「手を広げる」は慣用句として「事業や活動の範囲を大きくする」という意味で使われます。ほかの選択肢は、体の一部である「手」を実際に開いたり伸ばしたりする物理的な動作を表しています。

問12　答え 1　ある物事に夢中になり、他のことが手につかなくなること
「血道を上げる」は「ある物事に夢中になり、他のことが手につかなくなること」という意味です。

問13　答え 2　名誉を保つ、または面目を立てる
「面目を施す」は「名誉を保つ、または面目を立てる」という意味です。

問14　答え 3　面目躍如
（　）には「面目躍如（めんぼくやくじょ）」が入ります。世間の評価どおりに、いきいきと才能や本領を発揮して名声を高めることを意味します。

問15　答え 3　意気込みが激しく、自信に満ちている様子
「鼻息が荒い」は「意気込みが激しく、自信に満ちている様子」という意味です。